



沖縄県中学校文化連盟

令和6年度

第3回理事研修会・第2回実行委員研修会

第3回理事研修会：令和7年2月13日（木） 14:15～

第2回実行委員研修会：令和7年2月13日（木） 15:30～

【会次第】

司会進行：山内 盛也（常任理事）

- 1 開会のことば…………… 司会
- 2 会長あいさつ…………… 会長 仲嶺 香代
- 3 議事
 - (1) 第30回沖縄県中学校総合文化祭実施報告
 - ①全体報告
 - ②スケッチコンテスト結果
 - ③ヤングパフォーマンスフェスタ結果報告
 - ④県庁展示作品リスト
 - (2) 第30回県中文祭事後アンケートから
 - (3) 令和6年度各専門部活動報告
 - (4) 令和7年度県中文連事業計画（案）、各地区中文祭の日程（案）
 - (5) 令和7年度「第25回全国中文祭 わかふじ大会」開催 概要
 - (6) 次年度の確認事項について
 - (7) 今後の検討事項など
 - (8) 県中文連創立30周年記念式典および祝賀会について
 - (9) これからの県中文祭について
- 4 閉会の言葉……………副会長

(1) 第30回沖縄県中学校総合文化祭実施報告

①全体報告

大会期日	令和6年12月7日(土)～8日(日)
会場	アイム・ユニバースてだこホール
主催	沖縄県中学校文化連盟
共催	沖縄県教育委員会・浦添市教育委員会・沖縄県中学校長会 沖縄県特別支援学校長会・一般社団法人沖縄県PTA連合会
後援	沖縄県市町村教育委員会連合会 日本教育公務員弘済会沖縄支部沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK沖縄放送局 琉球放送沖縄テレビ・琉球朝日放送・FM沖縄・ラジオ沖縄

舞台部門		出演者数	来客数 (団体見学含む)	
①舞台の部 (大ホール)	1日目	午前の部(9演目)	382名	983名
		午後の部(9演目)	162名	936名
	2日目	午前の部(8演目)	144名	828名
		午後の部(9演目)	170名	863名
②YPFの部 演劇の部 (小ホール)	1日目	YPFの部スモール(5校)	40名	142名
		YPFの部ビッグ(8校)	126名	115名
	2日目	演劇の部(3団体)	40名	64名
		合計(舞台の部33演目67校、演劇の部9団体)	1,064名	3,931名

展示部門		作品数	地区別作品数	
③展示の部	国語	書道	23作品	国頭地区
		文芸	928作品	424作品
	社会	154作品	中頭地区	
	数学	96作品	577作品	
	科学	16作品	那覇地区	
	美術	800作品	667作品	
	技術	73作品	島尻地区	
	家庭科	111作品	744作品	
	特別活動	135作品	宮古地区	
	特別支援学級	219作品	104作品	
	特別支援学校	445作品	八重山地区	
	NIE	118作品	157作品	
	合計(作品数)		3,118作品	
④学校茶道呈茶(5校)		51名		
⑤NIE新聞速報(2校)		22名		
⑥実演実習(体験コーナー)		78名		
⑦第14回スケッチコンテスト参加者(23校参加)		192名		
⑧生徒実行委員		111名		
⑨教師実行委員		179名		
合計(出演者、作品数、実演、スケッチコンテスト、実行委員含む)		4,815名	3,931名	

令和7年 第25回全国中学校総合文化祭わかふじ大会 沖縄県代表派遣団体

開催日:令和7年8月21日(木)～22日(金) 会場:静岡県菊川文化会館

- (郷土芸能) 石垣市立大浜中学校 「大浜村豊の舞遊び」
- (郷土芸能) 石垣市立川平中学校 「川平満慶太鼓」
- (演劇) 中城村立中城中学校・宜野湾市立普天間中学校
「クワディーサーの下で～帰ってきた光の按司～」

※展示部門に書道作品10点、美術作品10点を出品(令和7年4月に募集開始)

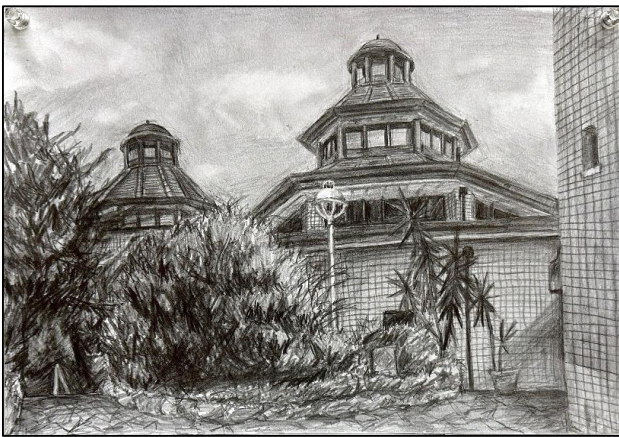
②スケッチコンテスト結果

第14回スケッチコンテスト結果 ◇参加者：192名(23校)

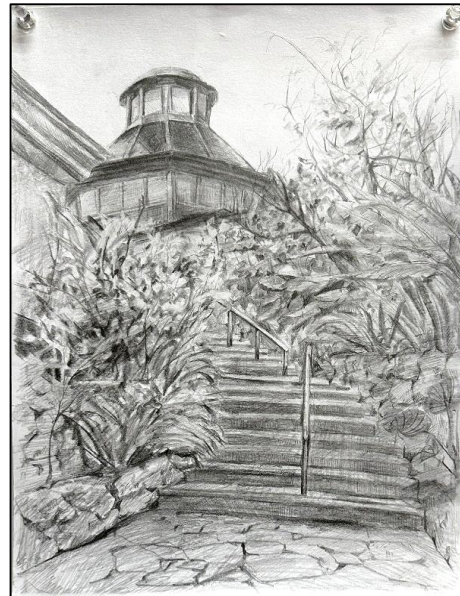
会長賞 渡慶次 佑月
【北谷中学校2年】



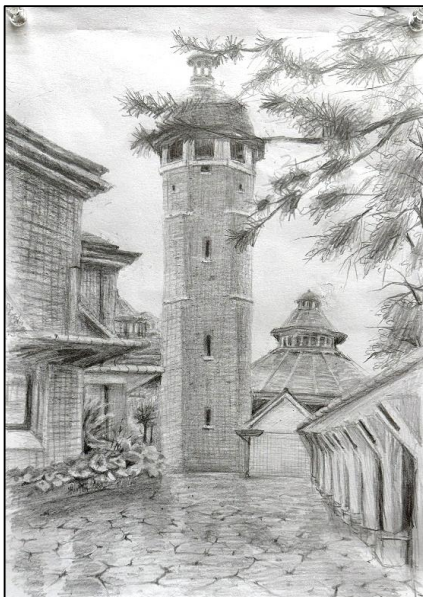
金賞 小濱 佳花【北谷中学校2年】



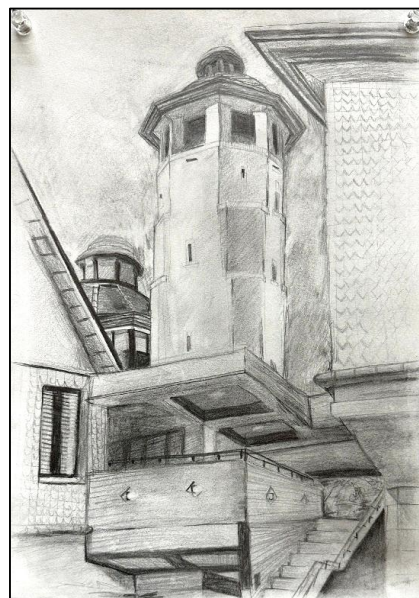
金賞 伊良皆 沙衣【豊見城中学校2年】



金賞 小橋川 楓加【宫里中学校2年】



金賞 嘉数 萌桃【長嶺中学校2年】



ヤングパフォーマンスフェスタ(YPF) バンド部門 大会結果

グランプリ	学校名	山内中学校・中城中学校
	バンド名	エターナルフィフティーン
準グランプリ	学校名	首里中学校・石嶺中学校・城北中学校
	バンド名	レディファースト
3位	学校名	昭和薬科大学附属中学校①
	バンド名	フランダールフラッシュズ



ヤングパフォーマンスフェスタ(YPF) ダンス部門 大会結果

スモール部門

グランプリ	うるま市立具志川中学校
準グランプリ	那覇市立真和志中学校
3位	那覇市立松島中学校

ビッグ部門

グランプリ	読谷村立古堅中学校
準グランプリ	うるま市立具志川中学校
3位	浦添市立神森中学校



TEL 098(865)5158

毎週木日曜掲載 教育

第30回県中学校総合文化祭

中学生の文化系活動の祭典、第30回県中学校総合文化祭が7、8の両日、浦添市のアイム・ユニバースでたごホールで

開催された。今年のテーマは「つなぎ続けて30年 継がれたウミイと新たな風を 誇らぬに」。琉球舞踊や合奏、演劇などの舞台発表や、書道や絵画などの展示発表があった。大会の様子を写真で紹介する。(撮影＝高増夏帆、統台中・喜友名里咲、玉城幹登、富山美枝、松田葵咲)

ウミイ継ぎ無限の可能性へ



浦添市立浦添中学校の生徒たちが、伝統舞踊「ウミイ」を披露する様子。今年も多くの生徒が参加し、観客を魅了した。



中学生のアイデアに富んだ作品が溢れた展示部門(7日)。(玉城幹登撮影)



浦添市立浦添中学校の生徒たちが、伝統舞踊「ウミイ」を披露する様子。今年も多くの生徒が参加し、観客を魅了した。



浦添市立浦添中学校の生徒たちが、伝統舞踊「ウミイ」を披露する様子。今年も多くの生徒が参加し、観客を魅了した。



豊やかに「百つ竹」を舞う浦添中・建川中の生徒(7日)。(富山美枝撮影)



演劇「笑く、書く、結ぶ」を披露する高知漢科大付真中学校の生徒たち(8日)。(高増夏帆撮影)



マーチング「The Phantom」で力強く美しい演奏と演劇を踊る嘉数中学校の生徒たち(8日)。(高増夏帆撮影)



西郷のお点前を披露する生徒(7日)。(富山美枝撮影)

沖縄タイムス 令和6年12月15日

2024年(令和6年)12月15日 日曜日

教育



午前と午後速報200部 「情報多く入れるよう工夫」



浦添市立浦添中学校の生徒たちが、伝統舞踊「ウミイ」を披露する様子。今年も多くの生徒が参加し、観客を魅了した。

糸満中生が中文祭取材



美しい舞踊の音と歌声を会場に響かせる生徒ら(7日)。(浦添市のアイム・ユニバースでたごホール)

舞台や展示 ウミイ躍動



目を奪った舞を舞った浦添中と建川中の生徒たち(7日)。(高増夏帆撮影)



躍動する舞の音と歌声を会場に響かせる生徒ら(7日)。(浦添市のアイム・ユニバースでたごホール)



多様な展示作品に魅了する中学生

第30回県中学校総合文化祭(浦添市立浦添中学校・建川中学校)が7、8の両日、浦添市のアイム・ユニバースでたごホールで開催された。今年も多くの生徒が参加し、観客を魅了した。

令和7年度 県庁展示作品

◆展示期間：令和7年3月～令和8年2月

◆展示場所：県庁13階エレベーターフロア、教育長室、統括官室、参事室

書道作品（8点）

No	学 校 名	学年	氏 名	題 字
1	沖縄県立名護高等学校附属桜中学校	2	上間 雛子	菊花有意浮杯酒桐葉無聲下井欄
2	名護市立名護中学校	1	當間 鈴菜	友愛の精神
3	うるま市立あげな中学校	3	新屋 希帆	歲月不待人
4	沖縄市立越来中学校	2	吉本 莉美加	夏雲多奇峯
5	沖縄県立開邦中学校	3	大嶺 紗和	萬国津梁之鐘
6	那覇市立寄宮中学校	3	池原 來未	蔵書每許鄰人借釀酒特邀野老過
7	糸満市立糸満中学校	2	塩鶴 にこ	四海生春風
8	南風原町立南風原中学校	1	工藤 侑結	献身的奉仕

美術作品（12点）

No	学 校 名	学年	氏 名	作 品 名
1	名護市立屋部中学校	3	皿谷 多愛	今を生きる私へ
2	沖縄市立越来中学校	3	高江州 應太	猫
3	沖縄市立越来中学校	2	真栄城 心音	猫と妹
4	沖縄市立宮里中学校	2	仲宗根 ゆい	識名園
5	浦添市立港川中学校	2	仲西 星七	数百年の歩み
6	浦添市立浦西中学校	2	宮里 楓	学校のシューズ
7	那覇市立仲井真中学校	3	比嘉 柚稀	帰り道
8	糸満市立兼城中学校	2	上原 雫	幸せを運ぶ海の宅配便
9	南風原町立南風原中学校	3	宮平 千尋	国際通り
10	宮古島市立西辺中学校	3	與那覇 春南	蝉の成長
11	宮古島市立西辺中学校	3	内澤 七海	サバニのある風景
12	宮古島市立西辺中学校	3	與那覇 琉子	赤瓦のある風景

(1) 第30回沖縄県中文祭 事後アンケートから

【1】舞台発表(内容、進行、誘導、集客、司会、受付など)について

【良かった点】

- ・(YPF)午前中と午後に分けて大会を開き、客席を確保することができた。また、係りの先生方も、与えられた役割をしっかりとこなしてくれたので、進行もスムーズにできた。
- ・(接待)役員生徒も頑張っていたので、スムーズに仕事ことができました。
- ・(放送)
 - ①事前に司会者講習会などを開催しプロの方からの指導を受けていたのでいろいろな面で対応ができた。
 - ②引率の先生方には、2日間大変お世話になりました。ありがとうございます。
 - ③当日、急な要望(アドリブや出演者への質問、間を長く取るなど)などにも司会生徒の皆さんは頑張って対応していました。
- ・(放送)演目と演目の間の準備時間を司会がフリートークをすることがありました。
- ・(マーチング)2日間、会場整理を行い、ほとんどの演目を見ました。どの演目もレベルが高く素晴らしい発表でした。客席は見学校以外に保護者が多数来場していました。少し混雑していたので、見学校の空き席に誘導して座っていただきました。見学校には空き席があったら、できるだけ詰めて、空席を保護者席として譲っていただくよう、事前に連絡していただくと、助かります。
- ・(特別支援学校)各学校の舞台演出がすばらしく堂々と演技している様子に感動した。内容がとても充実していた。手話通訳がついたこともよかった。
- ・(特別支援学校)特別支援学校の出演に関しては、映像発表をさせて頂き、伝えたい内容を映像を通して発表することができました。また手話通訳をつけて頂けたことにも感謝します。特別支援学校においては様々な状況に置かれている生徒がいます。そのような中でも映像によって参加できる機会が増えたことで生徒の活躍の場が広がったと思います。ありがとうございます。
- ・運営委員も立ち見がないよう、観客に丁寧に対応していて良かった。
- ・レベルの高さを感じました。スムーズに進行していたと思います。
- ・舞台設置中、インタビューなどで間をつないでいて良かった。
- ・地区の郷土芸能部門は入退場合わせて8分程度と認識し、地区代表を選抜していましたが、地区によっては8分を超えていたように感じました。時間制限は特に無いのか知りたいです。
- ・生徒主体でスムーズな運営でとてもよかったと思います。
- ・2日間を通して、スムーズな進行でとても良かったと思います。
- ・出演校それぞれ特色があって、飽きの来ないプログラム編成でした。
- ・毎年思いますが、大変素晴らしい内容だと思います。今回、一般の方を何名か案内しました。無料で誰でも観覧できることをもっとアピールしてもよいのではないかと思います。
- ・郷土芸能部門でPOPsをBGMに踊る演目はbeatがきいていて、中学生にとって、琉球舞踊を身近なものとして受け入れられるよい演目でした。
- ・中学生の可能性を発見する 舞台発表でした。
- ・琉球舞踊、郷土芸能、合唱、吹奏楽演奏など大変素晴らしい発表でした。日頃の練習からどれだけ一生懸命取り組んでいるのだろうと感動しました。
- ・司会の生徒の皆さんは、準備したシナリオ以外のアドリブでの対応も感心しました。
- ・見学校の生徒の中に落ち着かない生徒もいましたが、演舞が始まると一生懸命見えていたので、安心する場面もありました。ただ、最後の演舞が終わると、司会の生徒が話している中、退席する学校がありました。
- ・特別支援学校の発表は、学校の歴史も再確認でき素晴らしい発表でした。
- ・運営員の先生方の的確な行動で運営もスムーズに進んだと思います。
- ・司会の生徒の臨機応変なアナウンスがすばらしかったです。
- ・舞台進行がスムーズに思いました。司会の生徒も素晴らしかったと思います。

【改善点】

- ・(受付)
 - ①来客者用表示の不足・・・「団体用出入口」「開場時間」を用意できると良いかと思います。
 - ②受付用事務用品も用意した方が良いかと思います。(マジック、マーカー等)
 - ③所属が明確でない来客(元記者、名刺を持っていない記者等)への「撮影許可証」「プログラム冊子」配布等の対応策を明確にしておいた方が良いかと思います。
- ・(放送)タイムスケジュールの開始時刻がアナウンススタートの時間なのか、それとも演目開始の時間なのかを決めたい
- ・(放送)インタビュー生徒の変更が多々あった。
- ・一日目後半、来賓席まで一般席となり、出演校の校長先生が立ち見する状態が見られた。
- ・演目が毎年似たようなものなので、もう少し幅が広がると良いなど思いました。
- ・小ホールの集客をポスターでお願いしたい。申し込み用のQRコードを掲載してほしい。
- ・鑑賞団体によってマナー(必要以上の拍手)が気になりました。

【2】展示の内容について

【良かった点】

- ・(技家)展示スペースでは真ん中の仕切りをなくしてすっきりしていました。
- ・(科学)作品の搬入・搬出までスムーズに行うことができ、よかった。レイアウトやパネル数なども問題なく展示を行えた。
- ・(茶道)実演に関しては、各学校の部やクラブでの活動の成果を一人ひとりが発表できる場となり、保護者の方も見学にいらして喜んでいたので良かったです。
- ・(美術)展示が多目的1と小ホールと同じ階になったのでよかった。(2)
- ・(美術)パネルは当初予定より枚数が減っていたので、当初の枚数が必要。
- ・(美術)実演は缶バッジを行った。開始直後は体験者が少ないが尻上がりに多くなって概ね好評だったと思われる。学校配布のポスターに内容等掲載できればより周知できるのではないかな。
- ・(国語文芸)毎年パネル数の設置等ありがとうございます。スムーズに作品の搬入・搬出ができました。
- ・(国語文芸)地区中文祭と、県中文祭の日時が前後したりと厳しいスケジュールの中で、地区の先生方が協力してくれて、素晴らしく見ごたえのある作品の収集、展示ができた点です。パネル数が希望した数より数枚多く、実際集まった作品を展示するとさらに余るようだったため、隣接する理科専門部にも協力してもらい、パネルを埋めることができました。当日にならないと実際どれぐらいの枚数が必要が見えない部分があったため、臨機応変に協力できて良かったです。
- ・(国語)皆様の尽力でこれだけの大きなイベントが運営できるのだと思います。特に那覇地区の先生方には本部会も大変お世話になりました。本部会は各地区持ち回りで委員長が替わるため、引継ぎが上手くできない現状があります。他の部も同様の状況があれば、引継ぎの場を全体で設定しても良いと思いました(既存の研修会等と抱き合わせて)
- ・(国語書道)専門部の先生方のお力添えがあり、書道の展示については無事終えることができたと思います。パネルの数については、良かったと思います。ありがとうございました。
- ・(社会)パネルを増やして頂きありがとうございます。大満足です。
- ・(特別支援学級)さまざまな作品が自由に展示できて良かった。
- ・(特別支援学級)各学校の担当と協力して、準備、展示できたので良かったです。
- ・(NIE)今年度パネルが昨年より減っていたが、どうにか工夫して全作品を出品することができた。展示物は日本新聞協会認定のアドバイザーに選出してもらった作品を展示したことで、昨年度より高くなっていたように思える。
- ・数学の体験ブースに生徒が集まっているのがよかった
- ・圧巻でした。学校からの出品点数を制限した方がよりレベルの高い展示作品になるかと思っています。
- ・パネル、テーブル等の配置がよく、参観する生徒も見やすい様子だった。
- ・丁寧にレイアウトされていて見やすかった。
- ・空間の使い方も良く、見学者も通行しやすいと思いました。
- ・展示方が工夫されていて見やすかったです。
- ・展示会場がコンパクトに配置されていて回りがやすかったです。
- ・中学生とは思えない作品もあり、充実した展示でした。
- ・創造性あふれる素晴らしい作品が多々あり、先生方の日頃の指導、授業の取り組みに感謝です。
- ・実演コーナーも生徒の頑張りにもふれることができ大変良かったです。
- ・限られたスペースをうまく活用して展示していたと思います。レイアウトは大変だったとおもいます。お疲れ様でした。
- ・各教科のパネルが充実していました。
- ・すばらしい作品の数々で、展示を見て回るのが楽しく、感動しました。
- ・数学の綿棒を使って多面体を作るコーナーが大盛況でした。
- ・鑑賞者のマナーも良かったと思います。

【改善点】

- ・(科学)各作品のパネルやポスター数が予想より多かったため展示に苦労した。
- ・(社会)場所がコンパクトであればもう少し見学しやすいと思います。
- ・(国語書道)展示の仕方については、高さをそろえることを次年度は事前準備から共通理解を図っていきたいと思います。また、参観者が作品の横を横切るたびに作品が揺れてしまうため、画鋏でおさえることも書道専門部で確認していききたいと思います。
- ・(国語文芸)素晴らしい作品が各地区から提出されたが、パネルが余ってもったいなかったの、次回は展示作品をふやせないか。また、机の平置き作品の数も指定し、数を充実させたい。
- ・(国語文芸)掲示作品に比べ、机上におく展示作品が少なかったことです。机上の作品も充実するともっとバランスよくなると思います。次年度は、机上にもおける作品を増やせるように声掛けしていききたいと思います。
- ・(特活)各地区の先生方で呼びかけて、作品数が増やせるとよい。全体的に少ない感じがした。
- ・(特別支援学級)作品搬入・搬出の報告でサインが必要であったが、サインの後、どなたに報告して良いか流れが分からなかったの、地区ごとに責任を持たせて地区で管理すればいいのでは、と思いました。運営本部側には、作品搬入と搬出の氏名報告のみ前もって行うと手間が省けると思いました。
- ・(美術)小ホールホワイエ前の展示ではパネルのサイズや種類が例年と変わっていたようです。サイズが小さかったのと、フックをかける穴の無いものだったので大きな額縁の作品の展示に苦戦しました。高さも低く、前にテーブルを置くと、ほとんど作品を貼れませんでした。例年のもの(他の展示場所と同じもの)があれば、それをお願いしたいです。
- ・(美術)美術科のパネル枚数の確認不足がありました。
- ・(特別支援学校)計画されていたパネル数が1枚不足しており、展示調整を行う必要があった。また、会場について、保護者や展示会を見に来た方から、会場を探すのに1時間かかった。場所がわかりにくい案内をホール前に大きく示してほしい、分かりにくい。会場の入り口も地味で目立たず、寂しい感じがした。との声が多くあった。
- ・(家庭科)パネル・机の数が前年度より少ないと聞いていたので、各地区からの作品数を20点に限定して展示はできたが、地区からはもっと作品を出したかったという意見もあるので、机の数、パネルの数は減らさないでほしい。
- ・(家庭科)技術家庭科の展示場所は目立たない場所にあったからか見学校が回ってこない時間帯もあった。もっとわかりやすい場所だとありがたいです。
- ・学校からの出品点数を制限した方がよりレベルの高い展示作品になるかと思えます。
- ・地区名の札がない展示物(特別支援教育)もあったので、予備の準備等が必要。
- ・速報の新聞記事について、昨年度は掲示板に掲示されていたが…今年度は見当たらなかった。(昨年度のものはあったが。)全員に配布されるものではないので、昨年度同様に掲示スペースがあるといいですね。
- ・各教科趣向を凝らした作品で、とても面白かったです。ただこホールの配置が複雑なこともあり、展示場所がわかりにくく、見学者数に片寄があったと思います。団体見学の要項や会場内にも各教科の展示場所を載せていただけるともう少し見学者が見やすいかなと思います。
- ・展示の部の開始時間が舞台の部と同時だったため、舞台終了後一気に人が押し寄せてしまいました。展示の部の開始時間を少し早めることができると見学者が分散できるかなと思いました。特に二日目は展示終了時間が早いので午後の舞台の前の見学者と午前舞台の部の見学者一緒になってしまうことがあると思います。
- ・大ホールの展示物についてですが、舞台の部の団体見学生徒さんはなかなか足を止めて鑑賞できる様子はなかったと思います。市民交流室は動線がよくて見学しやすかったです。
- ・展示場所の確認を何名かの参観者に聞かれることがありました、場所が分かっていたため探せなかった模様です。展示場所に関する大きめの案内をどこかに張り出しすると良いかもです。
- ・舞台の部が終わり、展示の部になだれ込んできて、人が溢れていた。展示の保護ができるような感じではないので、もう少し分散できると良いと思います。舞台の部を前半、後半パートで更に1部、2部に分けて入れ替えなどを行う時間を作り、展示をもう少しゆっくり見れるようにするのはどうでしょうか???

【3】運営(実行委員会・専門部会・教師実行委員及び生徒役員の各系の活動)について

- ・(弁当担当)特に大きな問題はありませんでした。
- ・(弁当担当)注文票が工夫されていて、個別で取りに来られる方がいても、対応できました。とても助かりました。
- ・(科学)教師の作品管理では、時間を割り振って拘束時間を少なくすることができよかった。
- ・(科学)前年度も運営に参加しました。
科学専門部については、県中文祭に出品をしない方向も考えています。理由としては、科学作品展などの展示の場が多くあり、特に上位の賞を取った生徒は年に何回も展示することになります。県に出品する作品は内容も難しく、一般の生徒が数分で見ることがとても難しいと感じます。
- ・(茶道)少ない実行委員で運営しているので前日準備や片付けなどが大変です。特に大きい道具の運搬をどうしたらいいか、毎年悩んでいます。(今回は前日準備では同僚にお願いして学校車を運転してもらい、片付けでは、別の学校の先生に保管する学校まで学校車を運転してもらい、どうにか運搬することができました。)毎年のことなので、今後どうしたらいいのか気になっています。
- ・(郷土芸能)係の中で役割分担できたのでスムーズでした。
- ・(社会)前日準備も含めて負担が多い職員もいました。改善点だと思います。
- ・(社会)各地区からの先生方の派遣が厳しい場面があります。特に日曜の午後が厳しくなりつつあります。
日曜は午前で終わることを望む声が出ています。
- ・(国語書道)生徒の役員については、那覇地区の学校に助けていただきました。本当に感謝です。
- ・(国語文芸)専門部の仕事としては、協力し合ってやりやすかったです。
- ・(国語文芸)仕事内容があまりわからなかったのも、前年度の引き継ぎがあればさらに良かったと思います。
実行委員の先生方も初めての人がいて、わからないことが多く、何をどのようにやるべきか、前任者との引き継ぎが必要だと思いました。流れがよくわかっていないがために、依頼が遅くなったり、先生方に迷惑をかけてしまうこともありました。どの専門部も長年やっている先生方が多いため、引き継ぎが必要ないところもあると思いますが、新任者が変わるなら、USBでのデータ等も含めて、年度はじめに引き継ぎの時間をとってほしいと思います。
- ・(特活)専門部で話し合い、スムーズに準備、展示、片付けまで実施できた。
- ・(美術)美術部役員と美術科役員で1校から2人の役員が割り当てられ、授業変更などに苦慮しました。
搬入は1人でもよかったかなと思います。
- ・(美術)文化祭当日は、シフトがしっかり組まれていたこともあり、例年に比べて負担が軽くありがたかったです。
- ・(美術)ワークショップも北部地区以外の先生が対応に入っていたので、今後もいろいろな地区で対応できればと思います。
- ・(美術)大きなトラブルはなくスムーズに出来ていた。
- ・(美術科)専門部長からの連絡がこまめでわかりやすく非常に動きやすかったです。ありがとうございました。
- ・(受付)
 - 団体見学と一般の入り口を分けたので混雑は少なかった
 - 表示について「開場は〇時〇分 しばらくお待ちください」「団体入場口はこちら」などの表示があるとよいです。
 - 前日準備の仕事内容を実施要項へ挿入頂けるとおにぎりの個数も調整できそうですのでお願いします
 - ・前日の受付準備(テーブルイス配置、座席表掲示、リボンと受付名簿確認・・・2人で40分程度でした)
 - ・当日の集合時刻が7:50であれば、当日準備でも経験者がいれば大丈夫だと思います。
- ・(数学)展示だけでなく、体験コーナーで数学に触れて楽しむ様子が見れました。
- ・(放送)司会(放送専門部)の事前練習の日程がフェリーの関係で、とても行きにくい時間帯であった。
午後便で出ても間に合わず、かつその日に帰れないため宿泊を余儀なくされた。
- ・(NIE)今年度新聞社から業務改善の流れから新聞社からの印刷機の借り入れが厳しく、子ども記者を断念するかを考え本部に相談したところ、本部の方で印刷機を借りていただきどうにか無事に発行することができました。急な対応にもかかわらず、生徒の活躍の場を作っていただきありがとうございました。
次年度も今年度と同じになると考えられますので次年度もよろしく願いいたします。
2日間にかけてNIE速報を出すために生徒は頑張っていたと思います。
特に急なお願いにも関わらず、引き受けていただいた糸満市立糸満中学校の校長先生並びに生徒さん、
また急な対応をしていただいた先生方には感謝しております。ありがとうございました。
- ・本格的に初めて関わることになったので、わからないところがありました。今後、データで共有できるようにしたいと思います。
- ・本校の生徒が舞台発表以外にも役員として、裏方で頑張っている様子が見られて嬉しかった。
- ・NIEの生徒が、展示会場まで速報新聞を配りに来てくれたので良かった。役員で持ち場を離れることが難しいため、また毎年楽しみにしているので良かった。
- ・今回、不審者事案があり、警備について考えさせられました。運営側に迅速に対応していただき、生徒達も演舞することができました。また、事後対応も丁寧にしていただき感謝です。
- ・各係ともよく動いており、スムーズな行事だったと思います。大変お疲れ様でした。
(報告書類が多く、少し大変でしたが、仕方ないと思っています。事務局の皆様お疲れ様です。)
- ・全ての担当の先生方の動きに、感心しましたし、生徒のために頑張っていることに感謝の気持ちでいっぱいでした。
- ・数回行われた部会の集まりも適当な回数や日程で問題ありません
- ・各先生方が持ち場の役割をしっかりと果たしていたと思います。お疲れ様です。

【4】その他、お気づきになった点(改善点、要望等)

- ・(音楽教育)役員は音楽科の先生が多く携わっていたと思います。音楽科でなくてもできそうな仕事もあるので、他教科で回すことはできないでしょうか？
- ・(リコーダー)毎年接待として配置されています。リコーダーの活動をしている学校が少なくなっており、毎年古堅と港川で行っておりますが、出演が2校ともあるので出演日と役員日で両日になり大変ということ、今回は音楽科から応援を頂きました。しかし、音楽科も出演の引率で両日来ることになる先生が多いため他教科を配置しても良いのではと感じております。
- ・(科学)理科の作品に関しては、地区科学作品展、県科学作品展、沖縄電力での作品展など、生徒の作品が公に展示される機会が多く、県中文祭で作品を出品する必要があるのかという話が出た。一方で、文化系の作品出品が多い中文祭での化学分野での作品出展は、見に来る人も真新しく、プラスの面もある。中文祭以外の作品展示会も総合的に考えて今後のあり方を模索していく必要がある。
- ・(国語書道)離島地区も必ず出品していただくという形をとることができたら良いと思います。今年度については、宮古地区から1作品も出品ありませんでした。沖縄県中学校文化祭ということもあるため、全地区から出品があると良いと感じました。
- ・文化祭の改革について議論があると思うが、沖縄県の中学校総合文化祭は、伝統芸能の継承も支えている大会なので、1日開催にして、できる限り、多くの団体が舞台に出場できる形に修正しても良いと思う。
- ・運営する先生方の負担も減るように、平日の開催に改革しても良いと思う。
- ・事前準備、当日対応、事後片づけ等、3日間対応に追われて、疲労困憊されている先生方の負担を減らせる様に、開催の仕方工夫改善が必要ではないかと感じました。
- ・各分野で発表や披露の場が有り"県中文祭で披露する必要があるのか"と思う部門が有ります。また、その部門の運営の仕方改善が必要ではないかと思えます。
- ・(科学)科学専門部では、2日目に実験ブースを設置し、生徒達に実験してもらった。科学への興味・関心を高める上でとても効果的であった。今後とも継続してできたらと思う。
- ・(科学)科学専門部として、次年度出品しない事や実験ブースを行わない事は可能でしょうか？科学に対する興味が少ない生徒への科学の世界への窓口としては良いと思いますが、取り組みに対する効果が薄いように感じます。展示の内容を自由研究以外の物に変えるなどの案も考えています。すぐに変更できないかもしれないので次年度に向けて方向性を決めていきたいです。
- ・(茶道)材料費をできれば前もって支給してもらえると助かります。
- ・(展示)大ホールのある入り口が13時まで閉まっていたのは理由があるのでしょうか。他の展示場所は常に見学できたが、その部分だけ展示が見れないので、他の場所と同じように見れた方がいいと感じた。
- ・(団体見学について)学校観覧の生徒の聞く態度については、学校間差がある。拍手の仕方、演舞中の私語などとても気になる学校があった。
- ・(国頭地区)
 - ①地区内の教員数の割合が大きくなるため、専門部の在り方について検討できないか。
 - ②学校の授業と関連のない展示物等(このためだけに作成する展示物)について検討できないか。
 - ③県中文連祭の展示物の地区割り当ての検討・・・無理して作成につながるものがある。
*どのような状況でなのかよく分かりませんが、同一地区に長い期間、生徒の実演コーナー(理科)の担当が任されている状況があるとの話も出ていました。
 - ④当日の引率については、教員以外も可とするなどの配慮(教員の土日勤務の負担軽減)
- ・(特支学校)賞状に生徒の名前明記が無かったのですが、今年からでしょうか？以前は、作品出展リストから賞状明記されていたのですが・・・
- ・舞台や展示など、どれも素晴らしく、沖縄県中学生のパワーを感じ元気が出ました!ずっと続いてほしいです。
- ・(美術)高校の卒業展示などが12月上旬~中旬に多くあるので連携してポスター等掲示できれば、生徒が興味を持ち高校選びの一助になるのではなかろうか。
- ・駐車スペースがあまり広くはないので、近隣または引率の教師や保護者にはなるべく車の相乗りでの来館の対応をお願い
- ・(特別支援学級)県中文祭に那覇地区の作品を出展する際、各学校の担当が責任をもって搬入、搬出してくれたが、いくつかの学校が搬出時に作品と取りき来てくれなくて、県の担当としては大変困った。後日、各学校に連絡するのに苦労した。
- ・(NIE)休日の開催ということで、職員の動員が厳しいなどいろいろな意見がありましたが、ご協力いただいた各学校の職員の皆様には感謝いたします。NIEの取材を快く引き受けていただきありがとうございます。ありがとうございました。
- ・何名かの保護者から我が子の展示がどこにあるかを聞かれました。美術、技術と明確な場合は問題ありませんが作品は絵画でしたが部門は特支教育のケースがあり、対応者も保護者もだいぶとまどいました。案内の対応がまずいと本イベント、また在籍校への不信感につながる懸念を感じました。展示会場を案内する際の留意点として周知しても良いと思います。(作品内容とともに部門の確認をする等)
- ・各種展示物のある場所が離れているので、誘導や集客をお願いしたい
- ・舞台・展示共に鑑賞マナーの悪い学校があります。団体見学の際はマナーの周知徹底をして引率してほしいと思います。
- ・冊子販売の係として、展示の部の入り口にたっていました。全部で4部ほどしか売れませんでした。同じ箇所にも別の方々別の担当でいらしゃったので合わせて担当でもできそうな感じです。
- ・次年度の会場は浦添になるのですか？できれば毎年この場所がよいと思います。
- ・大ホール、小ホールどちらも素晴らしい演舞、発表がありましたが、どちらか一カ所しか見られないことが残念です。改善してほしいとかではなく、ただどちらも見たかったという気持ちです。

【5】感想をお願いします

- ・今回初めて、中文連の運営に関わってみて、様々な先生と情報交換ができ、中文連の仕組みもわかり大変勉強になりました。生徒たちの作品を見るのもとても楽しかったです。
- ・舞台はとても素晴らしく、見学に来た生徒も保護者も「すごい!」と言っていました。
- ・土曜日は、若干琉球芸能のプログラムが多く感じました。
- ・校長会等で呼びかける等して、次年度は校長先生方の来場が増えればと思いました。
- ・幕開け三線に本校の生徒も参加させて頂きましたが、毎年圧巻されます。全県からの合同の指導はとても大変だと思います。ありがとうございました。
- ・(那覇地区)地区中文祭、県中文祭ともに多くの中学生の素晴らしい発表の場であり、地区中文祭の今後の継続問題が常に頭をよぎりました。R7年度も話し合いが続くと思います。
- ・実行委員の先生方が中心となり、とても負担が大きい行事だと思いますが、県内の生徒の文化活動を一同に表現できる場はこの場所しかないで縮小してでも続けてほしい取り組みだと思います。
- ・遠い場所から搬出・搬入等大変な面もありますが、理科だけでなく様々な作品に触れることができ良かったです。
- ・大会に向けて、準備や運営でお互い苦労をしますが、当日の各部門での生徒の活躍や表現の素晴らしさを観たら、取り組んで良かったなとも思います。
- ・茶道部の活動だけでなく、不登校や別室登校の生徒の居場所づくりの一環での活動だったり、いろんな子どもたちが学校茶道呈茶席で活動の成果を披露しました。はじめは緊張していて不安そうだった子どもたちも、すこずつ堂々と行動できる姿が見られたり、昨年度はできなかったことが、今年度はできるようになっている子どもたちがいたり、成長を感じさせてくれました。この県中文祭を1つの目標として活動している子どもたちもいるので、私達運営側もより一層がんばっていきたい。
- ・毎年、大舞台の運営ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。
- ・今回初めて参加したが、県各地からの作品や発表を一堂に見ることができ迫力があつた。
- ・会議や準備のために学校を開けるのがとても大変だった。今後は運営も軽減できる方法があればよいと思いました。
- ・学校行事の関係で2日目しか参加できず、今回は運営のお手伝いではなく、見学だけさせてもらいました。島から出てでも見に来て良かったと思える素晴らしい文化祭でした。
- ・たくさんの裏方の先生方や生徒のおかげで、素晴らしい文化祭になったと思います。大変お疲れ様でした。楽しかったです。
- ・県中文祭、地区中文祭への激励等、ありがとうございました。運営する立場とそうでない方々の立場での物事の捉えは異なり、今後の運営の検討は何かと大変だと考えます。ここ連日私も地区校長会より色々なご意見が寄せられ、意見交換会にも呼ばれています。その中で、地区の校長先生方からの中文祭開催の意義はとても大きく、今後も継続させていきたいとの声がありました。30年という歴史やこれまで紡いできた諸先輩方の思いを引き継いできた中文連への敬意の言葉も地区校長会の情報交換会からはあつたとのことでした。中文祭を無くするのは簡単ですが、一度なくしたものを復活させるのは大変であるとの考えもありました。持続可能な中文祭とするために、多くの視点から検討していかなくてはならない時期だと考えております。ともに知恵を絞る時代にあつた中文祭の在り方が模索できたらと考えます。
- ・今後も継続して開催できるよう、協力していきたいと思っています。
- ・難しいと思いますが、翌週授業に影響ない時間で代休が取れればありがたいです。
- ・国頭地区中文祭の日が県中文祭の名簿提出日になっていました。名簿の提出日をもう少し遅らせていただけると助かります。
- ・各部門で輝く生徒たちの様子を目にし、耳にすることができ大変うれしく思います。
- ・(美術科)運営では、搬出作業時に多くの他地区の先生に協力していただき、大変助けられました。非常に感謝しております。ありがとうございました。運営に携わった先生方もお疲れさまでした。
- ・(国語)部会は2部門あり、各々大変だったかと思いますが、委員長はじめ、経験者のおかげで無事運営できました。私は展示に携わりましたが、展示に必要な道具等がそろっていたので、とてもスムーズに展示できました。
- ・文化的行事として沖縄県の中学生の活躍に感銘を受けました。もっと地域の人や中学生に認知されるべき行事。見学校以外は知らない学校関係者も多い。各学校の中文連担当が、各学校にアナウンスしていく必要があると思った。
- ・モニター越しですが、生徒の活躍がたくさん見られて良かったです。
- ・毎年内容は素晴らしいと思うのに、見学者が少なく寂しいです。学校以外にも周知できる方法があればいいなと思います。
- ・生徒の作品や舞台などすごくレベルが高く中学生のパワーに圧倒された。またワークシートなど日々の学習の様子から先生方の指導の素晴らしさも垣間見ることができ、鼓舞された。
- ・運営は大変かと思いますが、この生徒の素晴らしい発表の場は見る人にとっても、参加する生徒にとっても素晴らしいものだった。その素晴らしい大会の中で、特別支援学校の作品も展示することで多くの方に見て頂くことができ、とても良かった。
- ・中学生の発表の空間と時間、会場、企画運営等 ありがとうございます。
- ・今年度については、県中文祭の開催前には那覇地区の中文祭があつたということもふくめて、事務局としても地区の先生方も大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。実際に展示されている生徒も足を運び、家族と一緒に喜んでいる姿もありました。ありがとうございました。
- ・中学生とは思えないほどのクオリティで、いつも感動しています。役員の先生方やいろんな方々の協力があつての文化的祭典なので、毎回開催できることに感謝しています。近年、地区や県の中文祭の在り方が議論され、先生方の負担軽減や持続可能な開催方法の検討をされていますが、未来を担う子どもたちのために尽力したいと思っています。
- ・今年度の作品も目を引くものが多く、取材の中でも参加者の思いや参観者の思いや感想でも素晴らしい作品という言葉が多くありました。取材しながらも生徒は多くの形に励まされうれしそうでしたそのような姿を即応できて良かったと思います。

(3) 令和6年度各専門部活動報告

令和 6 年度 活動報告 【 特別活動 専門部】

1 活動報告

- ・7/16 今年度予想される、出品数やパネル、机等について確認。各地区の学校へ作品募集の呼びかけ。
- ・10/4 実行委員会にて再度確認
- ・11月～ メール等で実施に向けて確認。各地区中文祭にて、各学校の作品を展示、選抜。
- ・12/7～ 作品搬入、展示、撤収作業。

2 成果

- ・各地区の展示作品をバランスよく展示することができた。
- ・出品した各地区の作品数も適当数であった。

3 課題

- ・総合的な学習の時間の取り組みを出品している学校があった。今後、特別活動の分野で扱ってよいものか検討。

4 要望

令和 6 年度 活動報告 【 マーチング 専門部】

1 活動報告

- ・9/7(土) 沖縄県マーチングフェスティバル(県吹奏楽連盟主催)7団体出場
- ・10/12(土) 九州マーチングコンテスト(九州吹奏楽連盟主催) 名護中、与勝中、大宮中(銀賞)
- ・11/10(日) マーチング&バトンinオキナワ(日本マーチングバンド協会沖縄支部主催)5団体出場
- ・12/14(土) マーチングバンド全国大会 具志川中(金賞)、石垣第二中(銀賞)

2 成果

- ・各校のメンバーは減少傾向にあるが、団体が減ることはなく、継続的に活動出来ている。
- ・名護市内にジュニアマーチングバンドが昨年度よりマーチング&バトンinオキナワに出場しており、地域バンドのモデルケースになるであろう。

3 課題

- ・出場校の決定は年度によって変わる。今回は九州マーチングコンテストに出場した団体、マーチング&バトンinオキナワに出場した、団体で全国大会に出場しない本島内の学校(全国大会直前なので出場校は練習時間確保のため、対象外とした)としていた。毎年状況に応じて対応することは仕方のないことである。
- ・ホールステージ上でのマーチングはそのための練習が必要なので、バンドが動いて演技披露できなかった。

4 要望

- ・吹奏楽専門部とマーチング専門部は一つにしても良いのではないかと思う。マーチング関係者は人数が少ないことや、どちらにも所属している先生方もいるので、連携はとりやすいと思う。

令和 6 年度 活動報告 【 数学 専門部】

1 活動報告

沖縄県中学校総合文化祭について話し合い(展示部会にて)
第1回実行委員会にて話し合い 第2回実行委員会にて話し合い
沖縄県中学校総合文化祭準備 沖縄県中学校総合文化祭

2 成果

- ・沖縄県統計グラフコンクールに出品された優秀作品が展示できた。(銅賞、奨励賞)
- ・統計グラフ作品以外に自由研究、数学レポートの取り組みも展示できた。
- ・数学体験コーナーを設置し、行うことができた。
- ・沖縄県中学校数学教育会の事務局、各地区数学専門部の実行委員で対応できた。
- ・一地区中心ではあるが、中文祭での作品を推薦して出品もできた。

3 課題

担当の決め方が地区によって異なり、引き継ぎ等が上手くいっていないのか、一地区以外からの出展がほとんどない。地区中文祭がなくなっていくなったら県だけで提出を集約すること(数を生む、情報をまとめ精選する)がむずかしくなると思います。

4 要望

実行委員の話し合いにて、集まることはできたのですが、各部で日にちを設定して集まることは北部から南部までの職員が関わっているため専門部で要請して集まるのは厳しいように感じました

令和 6 年度 活動報告 【 特別支援学校 専門部】

1 活動報告

- *第1回:5月1日(水)総合文化祭要項(開催方法:会場展示、Web配信決定)
- *第2回:6月12日(水) 展示会場&Web開催実施要項
- *第3回:10月16日(水) 沖特閲覧者アンケート結果、地区中文祭、県中文祭について
- *第4回:令和6年2月17日(月) 県及び地区中文祭反省、事業及び会計報告等

2 成果

特別支援学校16校の平面・立体作品を400点あまり展示することができた。また、本連盟30周年記念として浦添工業高等と特別支援学校16校との共同作品を展示することができた。舞台発表では、沖縄ろう学校の100周年でのエイサーやろう学校の歴史などを交えた映像発表することができた。代表生徒は堂々と身振りを交えた手話で堂々と発表することができた。

3 課題

特別支援学校の作品展示をしている市民交流室の展示場所が分かりにくい、寂しい感じがするとの声が多くあったので、入り口の工夫や案内の工夫があると良い。

4 要望

特別支援学校は舞台発表を輪番で組んでいる。学校によっては今回のように映像発表を要望することが増えると予想されるので今後も舞台発表が継続して行えるようにしてほしい。

令和 6 年度 活動報告 【 学校茶道 専門部】

1 活動報告

12月7日(土)・8日(日) 沖縄県中学校総合文化祭呈茶席を実施
7日(土)・・・石嶺中・金城中・仲西中
8日(日)・・・嘉手納中・那覇中

2 成果

日々、部活動・クラブ活動で取り組んできたことをたくさんのお客さんや保護者の前で披露することができた。普段、不登校や教室に入れない子どもたちで活動している学校もあるが、そのようなことを感じさせないくらい、しっかりとお点前やお運びを行っていた。地区・県中文祭を経験することが本人の自信・やる気につながっていることを、運営側も毎年感じている。

3 課題

荷物運搬の際にどうしても学校車を使わなければならないため、学校職員にお願いして運転してもらったり、他校の役員に学校まで運転してもらった。(今回は運良くお願いできたが、できない場合どうなるのだろう。)

4 要望

できれば材料費も前もって支給していただくと助かります。

令和 6 年度 活動報告 【 リコーダー 専門部】

1 活動報告

10月5日(土) 第22回オータムコンサート 参加
12月8日(日) 第30回沖縄県中学校総合文化祭 出演
1月18日(土) 第44回沖縄県リコーダーコンテスト(予定)
3月29日(土) 第46回全日本リコーダーコンテスト(予定)

2 成果

全国大会への40年以上の連続出場(予定)

3 課題

リコーダーの活動する学校や部員が少なくなっている。

4 要望

特になし

令和 6 年度 活動報告 【 家庭科 専門部】

1 活動報告

9/28 県作品展審査会

2 成果

- ・各地区からの作品を見栄えを考慮しながら展示することができた。
- ・中央のパーテーション(美術へ移動)がなくても展示はできた。なければなくて会場が広く見えた。

3 課題

- ・今回は各地区からの代表作品を20点に抑えてもらうことで展示スペースにぎりぎり入れることができたが、地区からもっと作品を出したかったという要望はあり、作品数が増えると展示しきれないと思う。
- ・技術家庭科の展示部屋が目につきにくい場所にあったからか、見学校が回ってこない時間帯もあった(土曜日の午前など)。

4 要望

- ・展示する部屋の広さ、パーテーションや机の数は減らさなくてほしい。作品の展示スペースが足りなくなる可能性があるため。
- ・展示場所(部屋)がもっと目につきやすい場所だとありがたい。多くの方に足を運んでもらうため。

令和 6 年度 活動報告 【 音楽教育 専門部】

1 活動報告

代表……うるま市立あげな中学校 パリトンサクソ独奏
本年度は 那覇地区の担当予定でしたが、前年度に全国中文祭の開催のため、出場割り当てがありませんでしたので、繰り下がり前年度担当の中頭地区より 代表演奏を選出しました。 前年度の2~3月頃に 沖中音研事務局会にて確認されています。 来年度は那覇地区となり、その後は順番通りの担当地区となります

2 成果

聴きごたえのあるよい演奏でした

3 課題

特にはありませんが、授業または普段の活動の中から選出できるとさらによいかと思います

4 要望

特になし

令和 6 年度 活動報告 【 YPF 専門部】

1 活動報告

7月4日(木) ダンスコンテスト代表者会議(浦西中学校)
7月25日(木) 第5回ダンスコンテスト(うるま市響ホール)
11月9日(土) YPF/バンド部門選考開催(at ONE COLOR)
12月7日(土) 第30回 沖縄県中学校総合文化祭 ダンス大会(アイムユニバースでだこ小ホール)

2 成果

・バンド大会:9チーム、39名出場。
ダンスコンテスト:29チーム、348名出場。
YPFダンス大会:14チーム、170名参加。
・バンド大会においては、ライブハウスを借用して本格的な舞台演出を体験させることができ、出演生徒も喜んでいました。
・ダンス部が中学校でも認められつつあり、市の予算を利用してコーチが教えてくれる学校も増えてきて、高いレベルのパフォーマンスも増えてきた

3 課題

・教員の働き方改革として、夏休みに大会を開いたり、オーディションはビデオ審査にしたり、できる限りコンパクトな運営に努めている。しかし、わずか数名で運営しているYPFなので、今後、専門部の先生がこれ以上、抜けるのであれば、YPFの活動は終了するしかないと考えている。他の先生に引き継ぐ、という考えは難しい。

4 要望

・教員の善意に支えられて運営されている県中文祭も、さらにスリム化したほうが良い。持続可能な大会にするのであれば、運営している先生に、ボランティアではなく「対価」を支払う必要があると思う。(もしくは平日開催にする)「部活は持ちません」という先生方が増えてきている現状では、休日の大会運営は、成り立たなくなっている。「対価」を準備するため、生徒から徴収する中文連負担金をあげるしかない。
・ビデオ撮影だけでなく、スナップ(写真)の撮影も業者をお願いしたい。

令和 6 年度 活動報告 【 技術 専門部】

1 活動報告

9月28日 令和6年度沖縄県中学校技術・家庭科生徒作品展審査会
11月20日 九州技術家庭科研究大会へ出展
1月31日 第24回 全国中学生創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクール部門へ出展

2 成果

○前年度より多くの作品が出展され、全国中学生創造ものづくり教育フェア生徒作品コンクール部門へ(技術1点・家庭3点)出展することができた。

3 課題

○各地区で作品審査を行うことが難しいとの話があり、地区を取り止め県に一本化するかを検討中

4 要望

○沖縄県中学校技術・家庭科生徒作品展審査会の共催をお願いしたい。

令和 6 年度 活動報告 【 英語 専門部】

1 活動報告

- ・ 7月 13日(土) 第 4回沖縄県中学校英語スキットコンテスト
- ・ 10月 5日(土) 令和6年度沖縄県中学校英語弁論大会
(第76回高円宮杯中学校英語弁論大会 沖縄県予選大会)
- ・ 11月29日(金) 第 5回沖縄県中学校英語教育研究大会(中頭地区開催)

2 成果

- ・ 事業計画通りに運営できた。
- ・ 第4回スキットコンテストにおいて、様々なテーマでオリジナルの演目が見られ、さらに生徒のスキルアップが見られた。
- ・ 第5回英語研究大会を中頭地区で開催できた。授業研究会・講演会をハイブリッド型で開催できた。

3 課題

- ・ オンライン配信の場合の工夫改善が必要。
- ・ スムーズなコンテスト運営のために、大会出場数の見直しを行ったことで、ゆとりを持って運営することができた。

4 要望

特になし

令和 6 年度 活動報告 【 社会 専門部】

1 活動報告

- 9/14 第25回沖縄県中学校社会科新聞コンクール審査[県審査] ~11/6 各地区専門部長で出品作品の調整を行う。
- 12/6 展示作品サイズや状態等の確認作業・展示作業
- 12/10 県社会科新聞コンクール作品(知事、対馬丸記念、会長、金賞)の展示

2 成果

- 上位作品をパネル1枚を大きく展示でき、見栄えがよかった。
- 各学校(離島を含む)の先生方が新聞コンクール審査に参加して頂いた。

3 課題

- 各地区新人大会の開催日が重なり、先生方の参加が厳しい場面があった。
- 名簿確認や提出に各地区との連携が難しく、中文連への提出が遅くなった。

4 要望

いつもありがとうございます。本当にお疲れ様でした。

令和 6 年度 活動報告 【 NIE 専門部】

1 活動報告

8/22 : 県中文祭作品取組状況の確認
9/1~11/8 : 各地区での出品作品の調整
11/15 : 各地区での出品作品の最終調整

2 成果

・生徒が取材係やカメラ係に分かれてお互いで声をかけながら主体的に活動していたので良かった。

3 課題

・12月7日(土)の速報新聞は午前版のみの発行だったので、次年度は生徒や新聞記者の方々と連携を密にして午後版もしっかり発行、配付を行っていきたい。

4 要望

・今年度は新たに興南中学校が出品展示していたので、できればパネル数を2枚程度増やしてもらえると助かります。
・研修会不参加の場合は代理職員を派遣してほしいです。(打合せや資料の確認等があるため)

令和 6 年度 活動報告 【 特別支援学級 専門部】

1 活動報告

11月に各地区中文祭にて県出品作品選考 12/6各地区作品搬入と作品展示 12/7~12/8 地区代表作品展示

2 成果

・各地区の代表作品を展示することができたので内容がとても良かった。

3 課題

・今回特別支援学級の責任者でありましたが、当日の仕事(搬入の確認や搬出の確認)が分かっておらず皆さんにご迷惑をおかけしてしまいました。責任者は搬入・搬出を必ず確認することを事前に知らなかったため。来年度の反省点です。

4 要望

国頭地区から浦添市までは距離があるため、搬入・搬出のみの場合交通費が出ないため、他の先生方に声をかけることに気が引け一人で展示、片づけをしました。他地区の先生方も一人で搬出をしていました。交通費だけでもどうにかならないでしょうか？

令和 6 年度 活動報告 【 伝統芸能(三線) 専門部】

1 活動報告

10月16日 三線リハーサル (市民交流室) 15時~17時
11月2日 中頭地区中学校文化祭(オープニング三線合奏)
12月7日 県文化祭(オープニング三線合奏)その少し前のリハーサル

2 成果

並び方もちゃんと決められていたので、意外にスムーズに並べることができた。
県のホームページに実際の音源を入れてくれたおかげで、練習やまたテンポなど確認することができてとてもよかったです。

3 課題

締め切りまでなかなか希望生徒が集まらなくて、困った。
太鼓の流派がバラバラで、太鼓のタイミングが合わなくて、ずれたりした。
県のときにインフルエンザ等でのキャンセルがどうしてもでしまうので、並びの調整が毎回の課題ですが、今回は上手い生徒ばかりだったので、とてもいい発表でした。

4 要望

今、三線の係が不足しているのですが、次年度は私とあげな中学校の大城ひとみ先生と普天間中学校のさやか先生は
確実にOKをもらっています。あと今お声をかけているのが、系満中学校の山城ちあき先生と、
うんな中学校の上原かつひろ先生には声をかけています。また次年度、コザ中学校の多和田学美先生も
お声かけしようと思っています

令和 6 年度 活動報告 【 美術科 専門部】

1 活動報告

・事務局や各地区の専門部長との連絡調整
・搬入、搬出管理
12/7~8 体験コーナーの実施(オリジナル缶バッジの作成)
12/7~8 県スケッチコンテスト優秀作品(会長、金、銀賞)の展示

2 成果

搬入、搬出共にスムーズに運営できた。
(パネル数の変更があった為、展示場所が狭くなり、作品が展示できなかったが、
技術科&家庭科がパネルを提供してくれて大変助かった。)

3 課題

展示パネル数は、毎年おネジ数を確保して欲しい。
(パネル数の変更があった為、展示場所が狭くなり、作品が展示できなかったが、
技術科&家庭科がパネルを提供してくれて大変助かった。)

4 要望

美術科の展示場は、今後も多目的室Ⅱにして欲しい
(理由:階数が変わると、見学者も困惑するし、管理側も管理しづらい為)

令和 6 年度 活動報告 【 書道 専門部】

1 活動報告

6/26 全国書道作品選考会
7/2 第1回理事研修会(パネル枚数確認)
9/5 県中文祭展示の部 実行委員研修会(各地区専門実行委員と要項確認)
10/4 県中文祭実行委員研修会(各地区専門実行委員と役割分担)
12/6 事前準備 12/7・8 第30回沖縄県中学校文化祭

2 成果

○実行委員の先生方と展示の際、高さを揃える工夫を考え、前年度とは違う展示の仕方をおこなった。

3 課題

●県中学校文化祭では、全地区からの作品を展示したい。今回は全地区の作品を展示することができなかったため、沖縄県文化祭のため、全地区への呼びかけが課題。

4 要望

○受付には椅子がありますが、展示の部で管理をする先生方の椅子の確保も必要だと思います。

令和 6 年度 活動報告 【 国語文芸 専門部】

1 活動報告

9/5 実行委員研修会にて当日の動き確認 9/13 大会テーマ選考 10/4 実行委員研修会にて今後の流れ確認 11/8までに専門委員長へ名簿提出 12/6 作品の搬入 12/9 作品搬出

2 成果

各地区150~300点もの作品を出品してもらい、分量、見栄えともに、見ごたえのある作品の展示ができた。作品数に対して、パネル数が多かったが、各地区でレイアウトを調整してレイアウトを工夫することができた。

3 課題

机の上におく作品の展示が少なかった。次年度声掛けしながら、机の上にも展示作品をふやしたい。

4 要望

色々と兼ね合いもあると思いますが、県中文祭と、地区中文祭が前後することなくうまく日程調整してほしいです。各専門部ごとに引き継ぎの期間を設けてほしいです。

令和 6 年度 活動報告 【 郷土芸能(舞踊) 専門部】

1 活動報告

- 実行委員会参加、郷土芸能の担当地区の確認等
- 各地区で出演団体の調整を行う
- 12/7・8 全国中学校総合文化祭への推薦団体の選考

2 成果

- 総合の時間を活用し全校生徒で取り組んでいる学校もあり、文化の継承が行われていること、そして多くの発表があり、とても良かったです。

3 課題

- ①推薦団体を選考するにあたり、郷土芸能の中でも琉舞(古典舞踊、雑踊り、創作舞踊など)、地域芸能などの分野があり、選考の難しさを感じました。
- ②「古典舞踊」とあるが、内容は「創作舞踊」ではないか? 分野の線引きに違和感を感じた演目がありました。

4 要望

- 上記の②の件ですが、すべて「琉球舞踊」とすれば、「古典」も「創作」も含まれるので、その方がいいのかなと思いますが、いかがですか。

令和 6 年度 活動報告 【 科学 専門部】

1 活動報告

- ・沖縄県理科教育協会の理事会にて、各地区理科研究会での中文祭担当を確認。各地区の実行委員を県中文連へメール報告。
- ・第1回実行委員会にて、実行委員の先生方と、展示作品数や作品管理役割分担を確認。
- ・作品搬入、展示、作品管理、作品搬出。
- ・理科実験を担当してくれる学校へ依頼。琉大付属中が2日間行ってくれた。

2 成果

- ・各地区の先生方で協力して作品管理をすることができた。例年通り、パネルや実験物も展示できた。
- ・理科実験体験コーナーを1日間行うことができた。見学しに来ていた生徒は、興味を持って体験していた。

3 課題

- ・展示をじっくり見学する生徒が少なかった。規模縮小などを考えたい。
- ・展示物の生徒見学者が11:30~12:30くらいに集中して来る。実験ブースは、その時間帯だけでも良い気がした。

4 要望

- ・大会冊子販売の時間を短くしてほしい。ほとんど売れない。

令和 6 年度 活動報告 【 吹奏楽 専門部】

1 活動報告

沖縄県中学校文化連盟選抜吹奏楽団♪NLB
9/17~27 オーディション募集⇒17校96名
10/2 オーディション(動画審査)実施⇒16校55名合格
10/26,11/9,23,30 合同練習
12/7 第30回沖縄県中学校総合文化祭〈舞台の部〉参加

2 成果

- なかなか体験できない大編成ならではの響きを体感できた。
- 各校との交流を通して裾野が広がった。
- 演奏者のみならず観客からも大絶賛であった。

3 課題

- 事前の計画が万全でなかったため、選抜吹奏楽団結成に関して事務局等にご迷惑をおかけした。
- 選抜吹奏楽団 オーディション実施に関して、急な応募であったため周知不足であった。

4 要望

- トラック代の割当が1校¥30,000となっているが、現状では貸切バス代と同様にトラック代も高騰しており、30000円では手配できない。
工面してトラックを一往復分で済ませようとしたが難しく、専門部活動費より捻出することとなった。
トラック代の1団体3万円というのを増額していただくことは難しいだろうか……。
- 次年度も選抜吹奏楽団を継続していきたいと考えている。
活動費においては、楽譜代や消耗品費などがかかるため、吹奏楽専門部の活動費以外に選抜吹奏楽団での予算を組んでいただきたい。

令和 6 年度 活動報告 【 合唱 専門部】

1 活動報告

- 12月7日「吹奏楽と合唱の饗宴」出演
- 12月8日合唱舞台の部 出演 ①那覇市立石嶺中学校 ②那覇市立安岡中学校

2 成果

- ・「みどりの風」の歌唱と、混声三部合唱で「燦燦」を演奏することができた。男子の参加も増えている。
- ・前年度は6校80名ほどの参加であったが、今年度は8校で120名を超える生徒の参加があった。

3 課題

- ・参加校が多いため、連絡等が大変であった。また、専門部長が離島に赴任しているため、連携することが難しかった。
- ・専門委員長への要望や質問が多かったが、こちらも把握できていないことが多く返答に困る場面があり、とても負担感を感じた。

4 要望

- ・合唱専門部の仕事を、各受付に限定してもらえたため、役員を頼みやすくとても助かりました。
- ・事務局の榊原先生が、わからない事などいつも迅速に対応してくれ、とても助かりました。
- ・次年度も、出演当日の早い時間にリハーサルを組んで頂きたい。
- ・出演後も専門委員長の提出物が多く辛かった。Googleフォームなどでアンケートを簡略化してほしい。

令和 6 年度 活動報告 【 演劇 専門部】

1 活動報告

- ・6/23(日) 第11回中学校演劇祭(うるま市芸術劇場燈ホール)前日リハーサル
- ・8/14(水) 演劇ワークショップ(北谷ニライセンター)
- ・12/8(日) 第30回沖縄県中学校総合文化祭 演劇の部(アイムユニバース手だこホール)

2 成果

- 8月に開催された全国大会(山口県大会)で那覇市立安岡中学校の演劇を披露できた。
- 出場する学校の作品は、創作演劇が多く、沖縄の文化、歴史、風習などに関する作品が多い。
- ワークショップにおいて、演劇部がない学校でも演劇に関心がある生徒が参加できた。

3 課題

- 出場校を増やす。
- 各学校に演劇に関心ある生徒へワークショップ等の提供。

4 要望

- 令和7年度は、6月、8月にワークショップを実施したいです。(年に2回)
- 演劇大会が続く限り。できるだけ、全国大会出場の機会を継続していただきたい。

令和 6 年度 活動報告 【 美術部 専門部】

1 活動報告

- ・第11回沖縄県中学校アートコンクール(令和6年7月27日(土)実施)
- ・第14回沖縄県中学校スケッチコンテスト(令和6年12月7日(土)実施)

2 成果

- ・県アートコンクールには30校264名が参加し、大変盛り上がった。
団体優勝(北谷中学校)、準優勝(与那原中学校)、3位(豊見城中学校)
- ・県スケッチコンテストには23校、192名が参加し、多くの素晴らしい作品が出品された。

3 課題

- ・県アートコンクールはオープン参加のため参加校および参加人数が多くなり会場確保および運営に苦勞した。次年度以降は地区代表にするなどの改善が急務である。

4 要望

- ・県アートコンクール運営の予算を確保してほしいです。

(4) 令和7年度 沖縄県中学校文化連盟事業計画(案)

月	日	曜日	事業内容	場所・備考
4	10	木	学校基礎情報の報告期限(中文連担当者、生徒在籍・学級数等)	報告者:各学校中文連担当者もしくは教頭
	11	金	管内中学校情報の報告期限(担当主事様ご氏名、在籍数等)	報告者:各教育事務所中文連担当主事
5	9	金	第1回常任理事会	事務局(浦西中)
	15	木	評議員会(総会)	てだこホール(市民交流室)予定
5			5/26(月)~6/6(金)表敬訪問 ・県教育庁・国頭教育事務所・中頭教育事務所・那覇教育事務所 ・島尻教育事務所・沖縄タイムス・琉球新報・県PTA連合会 ・浦添市教育委員会・うるま市教育委員会?	各関係機関、マスコミ等
6	6	金	第25回全国中文祭わかふじ大会 出展作品応募締切	
	12	木	第25回全国中文祭わかふじ大会 出展作品選考会	てだこホール(市民交流室)予定
	24	火	第2回常任理事会	事務局(浦西中)
7	4	金	第1回理事会	てだこホール(市民交流室)予定
			第6回沖縄県中学校ダンスコンテスト(日程調整中)	うるま市民芸術劇場 響ホール(予定)
8	4	月	第30回県中文祭各専門部実施要項提出期限(実行委員報告)	
	20	水	第1回全国中文連理事会	静岡県(場所 後日連絡)
	21	木	第25回全国中学校総合文化祭 わかふじ大会1日目	静岡県菊川文化会館
	22	金	第25回全国中学校総合文化祭 わかふじ大会2日目	
9	10	水	第31回県中文祭「歌三線」募集締切	
	11	木	第31回県中文祭 展示部会	てだこホール(市民交流室)予定
	12	金	第31回県中文祭テーマ・ポスター 応募締切	
	18	木	第31回県中文祭テーマ・ポスター 選考会	てだこホール(市民交流室)予定
	25	木	第3回常任理事会	事務局(浦西中)
10	2	木	第31回県中文祭 第2回理事会および第1回実行委員会	てだこホール(市民交流室)予定
	23	木	第4回常任理事会	事務局(浦西中)
	24	金	歌三線合同練習	てだこホール(市民交流室)予定
11	7	金	各地区・各専門部推薦報告および作品名簿報告締切 ※大会冊子原稿納期の関係上、県中文祭4週間前あたりに設定	※国頭地区、中頭地区、八重山地区、 宮古地区(展示)は地区中文祭前に報告
12	5	金	第31回沖縄県中学校総合文化祭前日準備・舞台リハーサル	アイム・ユニバースてだこホール
	6	土	第31回沖縄県中学校総合文化祭	
	18	木	全国中文連第3回理事会(予定)	未定
1	23	金	第5回常任理事会	事務局(浦西中)
2	19	木	第3回理事会および第2回実行委員会	てだこホール(市民交流室)予定
3	26	水	会計監査	事務局(浦西中)

令和7年度 各地区中学校総合文化祭(案)

地区	月日	会場
国頭地区	令和7年11月16日(日)	名護市民会館
中頭地区	令和7年11月 8日(土)	うるま市民芸術劇場、ゆらてく
那覇地区	令和7年10月30日(木)	那覇文化芸術劇場なはーと
島尻地区	展示…Web開催 舞台…開催なし(県中文祭への推薦のための動画審査あり)	
宮古地区	【舞台】 令和7年10月31日(金)	【舞台】 宮古島市マティダ市民劇場
	【展示】 令和7年11月8日(土)~11月9日(日)	【展示】 未来創造センター
八重山地区	令和7年11月 8日(土)	石垣市民会館 大ホール
沖特中文連	令和7年8月22日(金)~8月25日(月) ※22日開会セレモニー	沖縄県総合福祉センター

令和7年度沖縄県中学校文化連盟 事業確認事項

関係者の皆様には今年度同様、ご理解とご協力をいただきながら、進めてまいりたいと思います。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

1 各月事業について

4月事業について

- ①年度初めに、各**中学校基礎情報**報告をお願いいたします。
各中学校中文連担当者または教頭先生は、期限内に報告をお願い致します。
- ②第25回全国中文祭わかふじ大会 展示部門出品作品募集チラシを各学校へ発送。
※書道(条幅)10点、絵画(四つ切)10点を全国中文祭山口大会へ出品します。

5月事業について

5月15日(木)に、令和7年度評議員会(総会)を予定しています。
参加者は、各地区中文連会長・理事長、各専門部長・委員長となります。
日程調整を、よろしくお願い致します。

6月事業について

- ①6月6日(金):全国中文祭 わかふじ大会出品作品募集締切日
- ②6月12日(木):全国中文祭 わかふじ大会出品作品選考会。
※参加者:国語(書道)専門部・美術科専門部

7月事業について

7月4日(金):第1回理事会
第6回沖縄県中学校ダンスコンテストを予定しています。(期日調整中)

8月事業について

- ①8月4日(月):各専門部実施要項提出締切日です。
※各専門部委員長は、実行委員の氏名報告をお願い致します。
- ②8月21日(木)~22日(金)第25回全国中学校総合文化祭 わかふじ大会

9月事業について

- ①9月10日(水):歌三線募集締切日
- ②9月11日(木):展示部会(会場調整中)
- ③9月12日(金):第31回県中文祭テーマ・ポスター募集締切日
- ④9月18日(木):第31回県中文祭テーマ・ポスター選考会
※参加者:国語(文芸)専門部・美術科専門部

10月事業について

- ①10月2日(木):第2回理事会・第1回実行委員会
- ②10月24日(金):歌三線合同練習会

11月事業について

11月7日(金):各地区・各専門部推薦報告および作品名簿提出期限
※那覇・島尻・国頭地区は地区中文祭前となります。ご対応をお願い致します。

12月事業について

12月6日(土)第31回沖縄県中学校総合文化祭
※12月5日(金)は、前日準備・舞台リハーサル

2月事業について

2月13日(金):第3回理事会・第2回実行委員会

2 県中文連 選抜吹奏楽団♪NLBについて

2年間続けてきた県選抜吹奏楽団♪NLBの活動を継続いたします。
7月ごろに県内全中学校へ周知を行い、動画審査を経てメンバーを選抜いたします。
活動期間は2025年10月~2026年6月(県吹奏楽祭)とします。

沖縄県中学校総合文化祭を1日開催を実施するにあたって(案)

県中文祭 役割分担及びローテーション

年	回数	開会宣言	生徒代表挨拶	閉会宣言	琉球舞踊・郷土芸能
R7	31	那覇	中頭	島尻	県内6地区(八重山2枠)7団体
R8	32	島尻	那覇	特別支援	県内6地区(八重山2枠)7団体
R9	33	特別支援	島尻	国頭	県内6地区(八重山2枠)7団体
R10	34	国頭	特別支援	中頭	県内6地区(八重山2枠)7団体
R11	35	中頭	国頭	那覇	県内6地区(八重山2枠)7団体

*開会宣言、生徒代表あいさつ、閉会宣言は、国頭・中頭・那覇・島尻・特別支援学校のローテーションとする

1 舞台の部について

- ① 各地区中文連より推薦する郷土芸能・琉球舞踊の団体数
現在……各地区より2団体(八重山地区3団体)
R7年度……各地区より1団体(八重山地区2団体)
- ② 放送専門部
現在……司会と舞台の部(大ホール)出演者推薦
R7年度……司会者のみ推薦(大ホール4名、小ホール2名)
- ③ 吹奏楽、マーチング、合唱、リコーダー専門部
現在……2団体推薦 R7年度……1団体推薦
- ④ 特別支援学校、音楽教育、国語(文芸)、英語専門部
推薦団体数に変更なし
- ⑤ 開演時間について
午前の部の終了後に反響板(側板)を組みなおす時間が必要となる。
その後、午後の部のリハが入る可能性あり?
現在……(午前の部)10時開演 (午後の部)13時30分開演
R7年度……(午前の部)9時45分開演 (午後の部)14時開演

2 展示の部について

- ① 1日のみの展示とする
撮影業者に委託をして作品を撮影してもらったものを、Youtube配信する。
- ② 展示スペース、パネル枚数について
展示スペースは、大ホールホワイエ、市民交流室とする。(作品選出方法等 相談&提案)
各専門部のパネル枚数等詳細は、後日連絡する。
- ③ 科学専門部
作品展示はせずに、実演コーナー(生徒)を実施する。

3 団体見学校割り当てについて

12/6(土)午前の部、午後の部の団体見学校について、改めてご報告ください。
*報告締め切り…2/28(金) 県中文連までメールにてご報告ください。

全国中学校総合文化祭 全国大会 令和7年度（2025年）開催概要

NPO 法人 日本地域部活動文化部推進本部（Pocca）2024.11.29

▼大会名称

第25回 全国中学校総合文化祭 わかふじ大会

主催：全国中学校文化連盟、NPO 法人 日本地域部活動文化部推進本部（Pocca）

後援：文化庁(申請中)、全国中学校長会(承認済)、静岡県教育委員会(承認済) ほか

※そのほかの後援・協力等の団体名は、次回、第3回理事会にて連絡。

※主催者のPoccaの名称 → 本年度内、法人名を「NPO 法人 全国地域文化未来共創機構」に改称

▼大会のねらい

中学生の文化活動の発表・発信、および、地域を越えた文化交流機会の機会創出の双方において、未来に向け、持続可能な全国中文祭の在り方の追究と中学生を取り巻く地域の協力体制の構築

※地域 = NPO、子ども・若者が関わる地域団体、企業等を含む諸団体 との協力体制を構築

▼テーマ(基本案) ※第3回理事会までに決定、発表。

「全国各地の文化への敬意と継承、そして、未来に向け新たな文化を私たちが共に創る！」

～ ひとりひとりが、文化創造の主役！ いま 新たな歴史の扉を開く瞬間(とき)！～

▼日時 2025年8月21日(木)、22日(金) 2日間 開催

(日程) 8月17日(日)	大ホールのみ搬入、オープニング・リハーサル ※18日は休館日で使用不可
8月19日(火)・20日	会場準備・リハーサル
8月20日(水)	全国中文連 理事会、レセプション ※理事会・レセプションは別会場を予定
8月21日(木)	本大会 第1日 (オープニング、舞台発表・展示) 終了後に生徒交流会
8月22日(金)	本大会 第2日 (舞台発表・展示、エンディング) 閉会后 会場撤収

▼会場 菊川文化会館アエル (静岡県菊川市本所 2488-2)

大ホール、小ホール、展示ロビー、展示室、茶室、和室、会議室、リハーサル室 等 (8/19~8/22は全館利用)



会館外観



大ホール



小ホール (椅子はフリーレイアウト式)



展示ロビー

【アクセス】 JR 東海道線・菊川駅から 約 2.7km、東名菊川ICから 約 0.8km、JR 菊川駅からバス「アエル入口」or「東名菊川」下車

第31回沖縄県中学校総合文化祭 実施要項(案)

1 趣 旨 沖縄県の中学生及び特別支援学校中学部に、文化芸術活動の場を提供することで、豊かな情操を育み未来へ繋がる創造力を高め、個性豊かな表現活動を通じて、芸術文化研究活動の充実・発展を図ることを目的とする。また、教師の交流を図り、それぞれの分野において、指導力を高める研修の場とするとともに、生徒相互の交流・親睦を図り、さらに意欲を持って追究する意思を育てることで、中学校における文化芸術活動の振興に資する。

2 主 催 沖縄県中学校文化連盟

3 共 催 沖縄県教育委員会 浦添市教育委員会
沖縄県中学校長会 沖縄県特別支援学校長会 沖縄県PTA連合会

4 後 援 沖縄県市町村教育委員会連合会 日本教育公務員弘済会沖縄支部
沖縄タイムス社 琉球新報社 NHK沖縄放送局
琉球放送株式会社 沖縄テレビ放送株式会社 琉球朝日放送株式会社
株式会社ラジオ沖縄 株式会社エフエム沖縄

共催&後援は、
4月に申請を行う

5 助成及び協賛 関係団体

6 期 日 舞台の部(大ホール)：令和7年12月6日(土)
※前日の12月5日(金)は舞台設営、リハーサルを行う
舞台の部(小ホール)：令和7年12月6日(土) 演劇の部
展 示 の 部：令和7年12月6日(土)
※前日の12月5日(金)は作品搬入を行う

7 会 場 ○舞台の部：アイム・ユニバースでだこホール(大ホール、小ホール)
※YPFの部(バンド・ダンス)は先行開催とします。
○展示の部：アイム・ユニバースでだこホール(市民交流室・多目的室・大小ホールホワイエ)
○スケッチコンテスト(会場周辺)

8 内 容 (1)すべての専門部の参加を原則とする。
各専門部及び各地区中文連から推薦された作品や演目の発表を行う。
①舞台発表の部：音楽教育、合唱、吹奏楽、マーチング、リコーダー、国語(少年の主張)、
英語(スピーチ・スキット)、郷土芸能(琉球音楽、琉舞、空手等)、特支学校
②展示発表の部：国語(文芸・書道)、社会、数学、科学、美術、技術家庭、特別活動、特支学
特支学校、NIE、茶道
③演劇の部：各学校へ参加を募集する。
④YPF(ヤングパフォーマンスフェスタ)の部：各学校へ参加を募集する(動画審査あり)。
(2)各地区中文連から推薦された作品や演目の発表を行う。
※国頭・中頭・那覇・島尻・宮古・八重山・特別支援学校中学部
(3)県中文祭スケッチコンテストを開催。県中文連会長賞他授与。
(4)中学生記者による新聞速報及び事前記事を作成し、県中文祭にて配布を行なう。
※協力：琉球新報社、沖縄タイムス社

9 日程(案)

	舞台の部 (大ホール)	舞台の部 (小ホール)	展示の部 てだこホール市民交流室他
前日 12月5日 (金)	【音響・照明の設営】 【会場設営等】 9:00～13:00 【リハーサル】 13:30～20:00 ・司会 ・リハが必要な郷土芸能 ・マーチング	【音響・照明の設営】 【会場設営等】 9:00～13:00 【リハーサル】 13:30～18:00 1団体50分	【会場設営(業者に依頼)】 9:30～14:00 【展示の部 最終会議】 14:30 【作品搬入開始・展示準備】 15:00～19:00
12月6日 (土)	【入館(関係者のみ)】 8:00～ 【歌三線リハ】 8:45～9:15 【開場】 9:15 ⇒ 緞帳降ろす 【午前の部】 9:45～11:45 【午後の部】 14:00～16:00 片付け・撤収 ～18:00	【入館(関係者のみ)】 8:00～ 【歌三線リハーサル】 8:15～8:40 ※8:00～10:00 (リハーサル・控室で使用) 【演劇の部】 10:10 開場 ①10:40～11:30 ②11:40～12:30 ③13:40～14:30 ④14:40～15:30 *審査講評、表彰あり	【入館(関係者のみ)】 8:00～ 【展示準備】 8:00～8:25 【展示発表】 8:30～16:00 【スケッチコンテスト(会場周 辺)】 9:20～15:30

10 大会役員

名誉会長	沖縄県教育委員会教育長
名誉副会長	沖縄県教育庁教育管理統括監 沖縄県教育庁教育指導統括官 沖縄県教育庁参事
顧問	沖縄県教育庁文化財課長 沖縄県教育庁義務教育課長 沖縄県中学校文化連盟歴代会長 沖縄県中学校・特支学校長会長
実行委員長	沖縄県中学校文化連盟会長
副実行委員長	沖縄県PTA連合会会長 沖縄県中学校・特支学校長会副会長 沖縄県中学校文化連盟副会長(専任) 各地区中学校文化連盟会長(国・中・那・島・宮・八・特)
実行委員	沖縄県中学校文化連盟理事長・副理事長 各地区中学校文化連盟理事長(国・中・那・島・宮・八・特) 沖縄県中学校文化連盟常任理事 // // 各専門部長 // // 各専門委員長 // // 各専門部教師実行委員
監事	沖縄県中学校文化連盟監事

「第31回 沖縄県中学校総合文化祭」

プログラム内容 (案)

会場：アイム・ユニバースてだこホール 大ホール

令和7年 12月6日(土)

大会テーマ

「○○○」

舞台部門【午前の部】 9:45～11:45

反響板なし

(案)なので
プログラム順等は
決定ではありません。

司会：

回	専門部	演 目	出 演 者	地区名
1	歌三線	「安波節」「安里屋ゆんた」「めでたい節」	沖縄本島 4地区より 100～120名程度	
2	開会宣言			那覇地区
	ファンファーレ	(午前の部 マーチング出演団体)		
3	会長挨拶	沖縄県中学校文化連盟 会長：仲嶺 香代		
4	生徒代表挨拶			中頭地区
5	郷土芸能			八重山地区①
6	特別支援学校			
7	YPF(ダンス)	先行開催 グランプリ受賞校(スモール&ビッグ)		
8	郷土芸能			宮古地区
9	英語スキット			
10	郷土芸能			八重山地区②
11	音楽教育			
12	マーチング			

舞台部門【午後の部】 14:00～16:00

反響板あり？

司会：

回	専門部	演 目	出 演 者	地区名
13	合唱と吹奏楽の 饗宴			
14	選抜吹奏楽団			
15	国 語(文芸)			
16	英語スピーチ			
17	郷土芸能			国頭地区
18	リコーダー			
19	郷土芸能			那覇地区
20	郷土芸能			島尻地区
21	合 唱			
22	郷土芸能			中頭地区
23	吹奏楽			
24	閉会宣言			島尻地区
	ファンファーレ	午後の部 吹奏楽 出場校		